

目標16

市民1人あたりの年間公共交通利用回数を平成32年度(2020年度)までに455.5回にします。

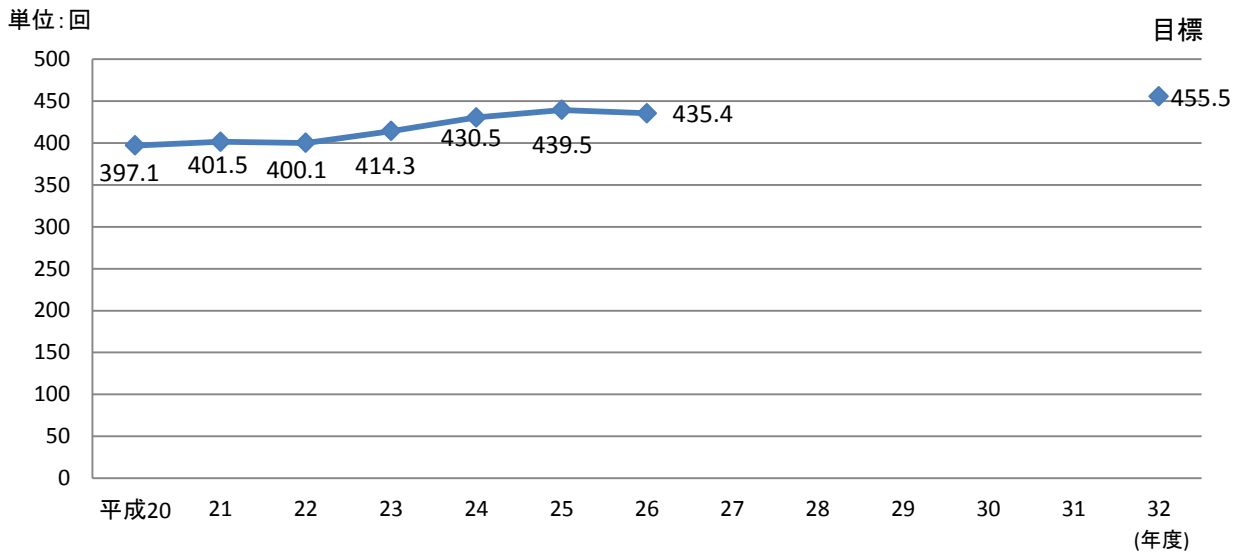
【目標担当課:都市政策課】

*市民1人あたりの年間公共交通利用回数:鉄道、路線バス、コミュニティバスの利用者数をその年度の人口で割ることにより算出します。

*鉄道利用者数はJRの各駅(茅ヶ崎駅、北茅ヶ崎駅、香川駅、辻堂駅)の乗降者数であり、本市以外からの利用者も含んでいます。

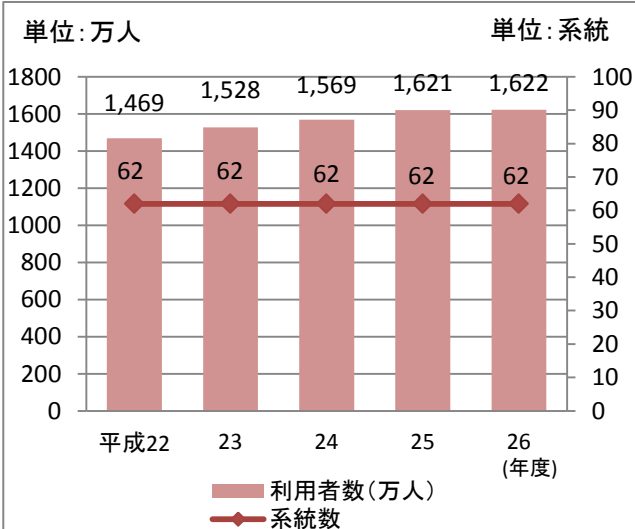
目標16の進捗状況

年度 (平成)	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
回数	397.1回	401.5回	400.1回	414.3回	430.5回	439.5回	435.4回



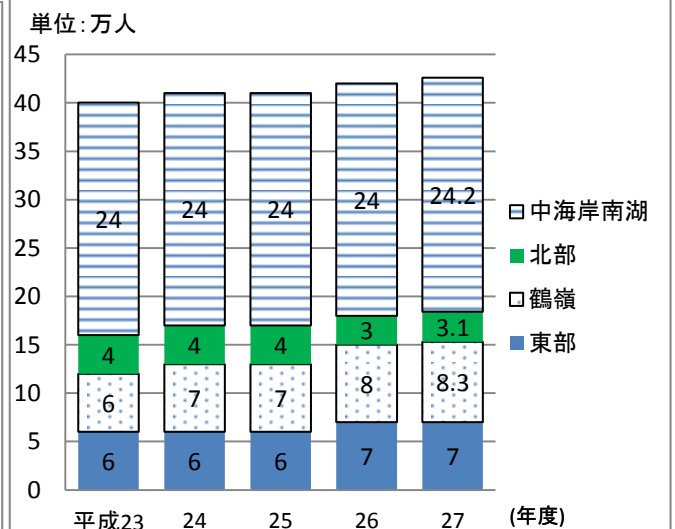
路線バスの利用状況(平成26年度)

利用人数	約1,622 万人
路線数	62 系統



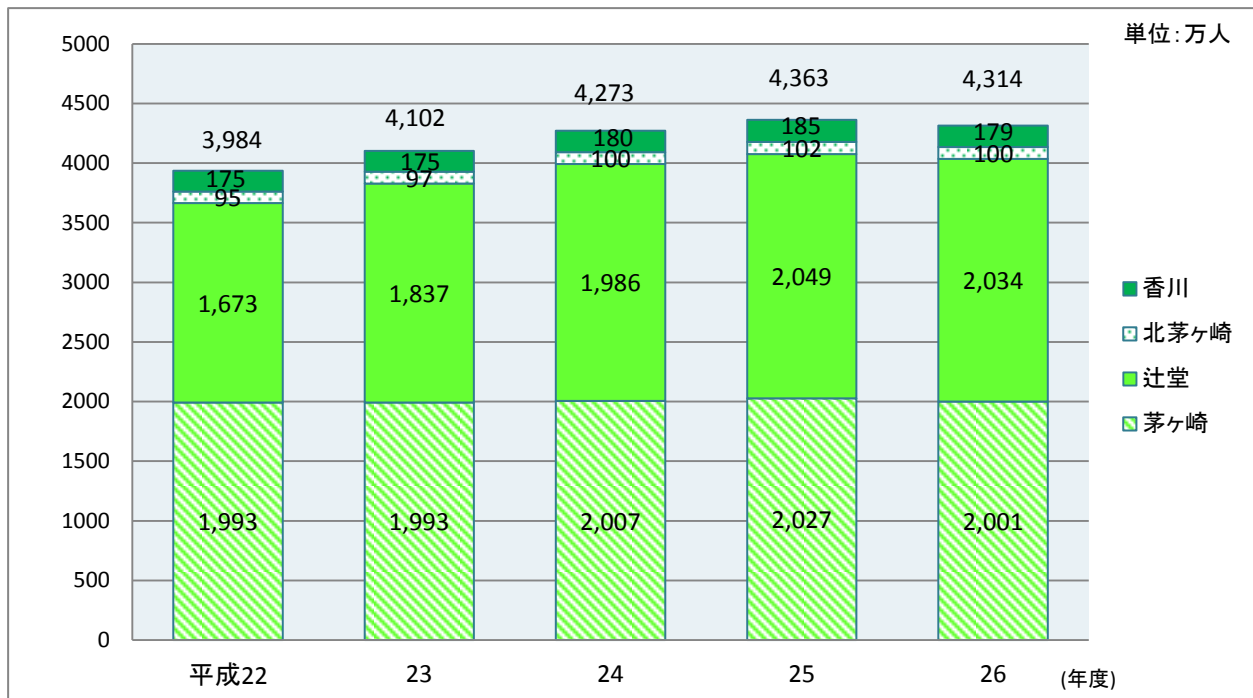
えぼし号の利用状況(平成27年度)

路線	東部	鶴嶺	北部	中海岸南湖
利用者数	約7万人	約8.3万人	約3.1万人	約24.2万人



鉄道の利用状況(平成26年度)

茅ヶ崎駅	辻堂駅	北茅ヶ崎駅	香川駅
約2,001万人	約2,034万人	約100万人	約179万人



えぼし号3つのやさしさ

○人にやさしいバス

えぼし号は、すべての人にやさしいノンステップバス。
出入口にステップがなく、高齢者や、車いすの方も乗降できます。
また、バス停間隔は、200メートルをめやすに、誰でも無理なく歩ける距離に設定されています。



○まちにやさしいバス

えぼし号は、バスとタクシーのあいだの役割を果たし、気軽な外出をサポートします。

また、座席は向かい合わせに配置し、地域のふれあいを高めて、温かみのあるまちづくりを支援します。



○環境にやさしいバス

えぼし号は、マイカーに頼った生活からの転換を支援し、排気ガスを削減し、地球温暖化の防止に役立ちます。



重点施策30 乗合交通の利便性の向上

概要

・家用車の利用を抑制し交通に伴う温室効果ガス排出量を削減するため、乗合交通を利用しやすい環境づくりに努め、快適な公共交通機関ネットワークを整備します。

平成27年度の取り組み

①乗合交通を利用しやすい環境づくりに向けた公共交通機関ネットワークの整備

事業名	取り組み結果	担当課
ノンステップバスの導入補助	・移動等円滑化の促進に関する基本方針の基準を目指し、事業者に対し予定どおり補助を実施しました。	都市政策課
予約型乗合バス(※)の本格的運行	・地域のニーズに合わせ乗合所を2箇所追加しました。 (うち、1箇所は買物外出の促進のため、みずき地区のスーパーマーケットに設置) ・利用実績を集計分析し、今後の運行計画の検討を行いました。 ・利用者がのべ5,700人となりました。(平成25年12月より運行開始)	
コミュニティバスの利用促進、運行改善(ルート、本数、バス停環境等)	・利用促進策の一環として、スタンプラリーを開催し、市内小学校を中心に周知を図った結果、家族単位での参加が多くありました。 ・利便性の向上および交通の円滑化を目的に、バス停『辻堂駅西口』を路面標示が可能な位置へ移設しました。	
サイクルアンドバスライド(※)の整備	・既存施設の適正管理(見回り、放置自転車撤去等)を行いました。また、古川バス停の北側の施設について、下水道工事のため萩園第二公園内に仮移設しました。(平成27年9月から29年3月までの予定。)	

平成27年度予算執行状況

事業名	27年度予算額	27年度決算額	(参考)26年度決算額	担当課
ノンステップバス導入補助事業	1,400千円	1,400千円	1,400千円	都市政策課
コミュニティバス運行事業(負担金)	110,668千円	83,559千円	102,419千円	
合計	112,068千円	84,959千円	103,819千円	

成果・課題と評価

成果	評価
・鉄道の利用状況は減少しているものの、予約型乗合バスの乗合所を2箇所追加するなどの工夫により、利用者は増加しています。	B
課題 ・急速に進む高齢化に対応するため、誰もが利用しやすい環境整備を進める必要があります。	



コミュニティバス
「えぼし号」

トピックス

サイクルアンドバスライド

公共交通利用促進のため、バス停付近に無料自転車駐車場を設置しています。
 鉄道駅やバス停まで距離がある地域の公共利用の利便性向上を図るため、サイクルアンドバスライドを推進しています。
 サイクルアンドバスライドとは、出発地点(ご自宅など)から自転車で最寄のバス停までいき、
 バス停付近の自転車駐車場に駐車し、バスに乗り換えて目的地に向かうことです。
 本市では、平成16年度に古川バス停及び松風台バス折り返し場で社会実験を行い、17年度以降は本格実施をしています。
 平成26年度は、浜見平団地バス停付近の施設を増設し、小中島・中島バス停付近、新田入口バス停付近に新設しました。
 現在、市内8箇所(ラック数計200台分)でサイクルアンドバスライド施設(=無料自転車駐車場)を運用しており、
 どなたでも無料でご利用いただけます。



サイクルアンドバスライドの看板



鶴嶺小学校前のサイクルアンドバスライド施設



サイクルアンドバスライド施設設置箇所

重点施策31 徒歩・自転車利用の促進

■概要

- ・歩行者の安全と自転車利用の利便性・安全性向上を図り、自家用車の使用抑制を図ります。
- ・レンタサイクル事業(※)について、今後の事業継続実施に向けた検討を行っていきます。
- ・サイクルアンドバスライドについて、施設の適正な維持管理を行い利便性の向上を図ります。

■平成27年度の取り組み

①歩行者の安全、自転車利用の利便性・安全性向上

事業名	取り組み結果	担当課
民設自転車駐車場に対する補助金交付の情報提供と開設促進	・ホームページにおいて、放置自転車対策として民営自転車駐車場の補助制度の情報提供を行いました。 ・自転車駐車場の開設相談にきた民間業者へ、茅ヶ崎駅周辺における自転車駐車場の需要は茅ヶ崎駅南口が多いことを情報提供し、開設を促進しました。	安全対策課
既設の茅ヶ崎駅南口公設自転車駐車場の維持管理と利便性向上	・共恵自転車駐車場を94台から264台へ増設し、定期利用を拡大しました。新栄町第二自転車駐車場における高齢者等の駐車スペースの拡大をしました。	
公設自転車駐車場新設に向けた検討と候補地についての情報収集	・茅ヶ崎駅南口に幸町第二自転車駐車場を新たに開設しました。他の候補地について情報収集を行いました。	
自転車利用ルールの周知	・自転車のルール・マナーアップに向けた取り組みとして、保育園、小学校、中学校、高校、高齢者、主婦層、事業所等における交通安全教室や、市営自転車駐車場での夜間無灯火自転車撲滅および自転車施錠呼びかけ(ダブルロック)のキャンペーン等の各種啓発活動、自転車専用レーン、法定外路面標示における高校生とデモ走行等の合同啓発活動等を実施しました。	
自転車走行空間の整備(鉄砲道の一部)	・鉄砲道の「東海岸北五丁目」交差点から「平和学園前」交差点までの区間(約1.5km)において自転車専用レーンを設置し、平成28年3月22日に、供用を開始しました。	都市政策課 道路管理課
歩道切下げ部改良工事	・歩道切下げ部改良工事を3箇所実施しました。	道路管理課
視覚障害者誘導ブロック設置工事	・視覚障害者誘導ブロック設置工事を4箇所実施しました。	
歩車道段差解消工事	・歩道段差解消工事を4箇所実施しました。	
歩道設置工事	・市道0109号線(鶴嶺通り)の新鶴嶺橋で人道橋架設工事(歩道延長62m)を実施しました。 ・市道0110号線(大岡越前通り)で歩道設置工事(歩道延長79m)を実施しました。	道路建設課

②レンタサイクル事業の実施と新たな取り組みの検討

事業名	取り組み結果	担当課
関係団体との協働によるシェアサイクル事業の検討	・関係者、有識者の意見を伺い、「茅ヶ崎市のシェアサイクル推進に係る基本的な考え方」を策定しました。それに基づき、関係者との協働により、3月18日より観光案内所を窓口とするレンタサイクルをスタートしました。	都市政策課
自転車での買い物がしやすい商店会づくり	・利用者が他の店舗にも寄ることができる「のきさき駐輪場」を10箇所設置しています。 ・レンタサイクルを28台設置しています。	茅ヶ崎市 商店会連合会

③サイクルアンドバスライド事業における施設の適正な維持管理と利便性向上

事業名	取り組み結果	担当課
適正な維持管理と地域の需要に応じた設置検討	・サイクルアンドバスライド駐輪場の適正管理(見回り、放置自転車撤去等)を行いました。また、古川バス停の北側のサイクルアンドバスライド駐輪場を下水道工事のため萩園第二公園内に仮移設しました。(平成27年9月から平成29年3月までの予定。)	都市政策課

■平成27年度予算執行状況

事業名	27年度予算額	27年度決算額	(参考)26年度決算額	担当課
自転車走行環境整備事業	30,000千円	21,470千円	3,002千円	都市政策課
道路段差解消事業	3,585千円	4,913千円	12,002千円	道路管理課
交通安全指導啓発事業	10,024千円	9,794千円	10,125千円	安全対策課
自転車駐車場管理	70,258千円	70,081千円	61,917千円	
歩道設置事業費	72,141千円	61,658千円	23,388千円	道路建設課
合計	186,008千円	167,916千円	110,434千円	

■成果・課題と評価

成果	評価
・幹線道路における自転車の走行環境の設置が進んでおり、地元からも好評を得ています。 ・観光案内所において、レンタサイクルを運用し、鉄道から自転車へのアクセスをより良くする仕組みができました。 ・予定通り歩道設置工事を施工し、歩行者の安全性向上を図ることができました。 ・自転車駐車場の利用台数を増大し、自転車利用ルールの周知を徹底したことで、環境にやさしい自転車利用の促進が図られました。 ・歩道の段差解消や切下げ部改良工事等については、他の道路工事とあわせて実施するなど工夫することにより、予算額以上に事業を実施しました。	B A: 極めて順調に進んでいる B: おおむね順調に進んでいる C: ある程度進んでいる D: あまり進んでいない E: 積極的な取り組みが必要 -: 取り組みなし(評価不能)
課題	
・全人身交通事故における自転車に関する事故が約30%を占めており、依然として多い状況です。今後は、自転車のルールの順守・マナーアップに向けた取り組みをさらに強化するとともに、茅ヶ崎駅南口の自転車駐車場の利便性向上と台数を拡大することで、自転車利用の促進を図る必要があります。 ・引き続き、自転車の走行環境を整備する必要があり、現在整備をすすめている幹線道路以外の路線についても、検討を進める必要があります。 ・レンタサイクルは夏の需要が非常に高いので、その需要をカバーできるような供給の体制を整える必要があります。	



交通安全教室の様子

